

# 想 動きはじめた生活科

新屋小教頭 桜井 茂

学習指導要領の戦後五回  
目の改定により、平成四年  
度から小学校に生活科とい  
う新しい教科が誕生するとい  
う。生活科は、一年と二年の  
社会科と理科にかかわること  
になるが、その学習活動は  
これまでのように、先生と  
子どもが正対して、教科書  
を調べて覚えるという座学  
ではない。子どもが生き生き  
と全体を使って学ぶ活動が  
求められている。教科書で  
子どもが、全体で学ぶ

学校の中を、手づくりの計  
画で探検することになる。  
初めて入った保健室の様  
子や保健の先生の仕事、校  
長先生と話したことや、め  
がねをとった素顔など、子  
どもの目の高さで調べ、仲  
間に知らせたりする活動で  
ある。

この様に、以前の様な一  
斉、同一体験でなく、子ど  
もが活動を工夫し選択する  
多様な体験がねらいである。  
移行期に入って学習計画  
がつくられ、試されている  
が、いかに教えますに教  
えられるか、教室での学ば  
せ方を考える工夫が、始ま  
っている。

## 文化財を 尋ねて

21

## 宝積寺

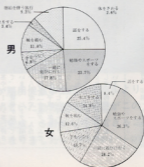
宝積寺の山門はお菊様  
のたたりで、何回か建立され  
てもまもなく壊けてしまっ  
たのだろうかということにな  
りました。

お菊様を菊女全長福大権現  
に祭り供養したところ、お  
菊様の安念が消え失せて、  
祟りがなくなつたそうです。  
お菊様は以後観音様の身代  
わりとなって人々の苦しみ  
や悩みを聞いてくれる安ら  
ぎのお仏様とられたそうで  
す。お菊様の無念の気持ち



とそれを受け止めた万阿弥神  
師の人徳が想はれて胸打た  
れます。

## 中学生の交際はその程度まで許されるか



アンケートからは、異性  
として男女が互いに意識し  
はじめた中学生の姿がうか  
がえます。アンケートの中  
の意見でも「相手の事はか  
り考え」「気をつかう」  
「苦しい」といった意見か  
ら「異性の良さがわかる」  
「自分がやさしくなった」  
「人を認められるようになった」  
「相手の気持ちを考  
えて行動するようになった」  
「毎日が楽しい」「うれし  
くてたまらない」「最高」  
という意見までいろいろと  
ありました。これらの声を

大切にして、男女の相互理  
解と望ましい人間関係作り  
に生かしていかなくてはなり  
ません。

子どもたちが将来、健全  
な家庭生活、社会生活が営  
めるよう、学校、家庭、地域  
が一体となって性教育を含  
めた人間教育をおし進めて  
いきたいと思います。

このアンケートを「かんら」  
になりながら「家族で子ど  
も」の学校生活、将来、ま  
た家庭生活について話し  
合ってみたいかがでしよ  
うか。